

笠岡市立城見保育所 年間保育計画

0歳児					
保育目標		<p>○保健的で安全な環境のもとで個々の欲求が満たされ、快適に過ごす。 ○保育者との信頼関係をもとに安心して周囲と関わり、身近な人やものに関心をもつ。</p>		養 護	<p>○生活リズムを安定させ、生理的欲求を満たして生命の維持と情緒の安定を図る。</p>
年間区分		I期（6か月未満）	II期（6か月から9か月）	III期（9か月から1歳3か月）	IV期（1歳3か月から2歳未満）
ねらい		<p>○家庭での生活と園での生活を常に連携し、無理なく園生活に慣れるようにする。（養） ○保育者にしっかり気持ちを受け止めてもらい、安心して過ごす。（教）</p>	<p>○一人一人の生活リズムや健康状態に合わせて、機嫌よく過ごせるようにする。（養） ○様々な欲求（食べる・飲む・眠る・遊ぶ）や甘えたい気持ちを十分に満たされ、安心して過ごす。（教）</p>	<p>○一人一人の発達に応じた全身運動を、十分に経験できるようにする。（養） ○共感的なコミュニケーションを取ってもらい、発語の意欲をもつ。（教）</p>	<p>○安心できる環境の中で着脱や食事をするこ とで、自分でしようとする気持ちを育てる。 （養） ○様々な遊びを通して手指の機能を伸ばす。 （養） ○様々な遊びを通して友達に関心をもつ。 （教）</p>
育てたい子どもの姿	健やかに伸び伸びと育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・食事（授乳）、睡眠、排泄などの欲求が満たされ、一人一人の生活リズムで心地よく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな食材の味や舌触りに慣れ、喜んで食べる。 ・お座りをしたり、腹ばいで前進したりする。 ・おむつを交換してもらい気持ちよく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食に慣れ、手づかみや指つまみで食べようとする。 ・おまるに座ることに慣れる。 ・安心して一定時間眠れるようになる。 ・はいはい、つかまり立ち、伝い歩き、歩行など様々な動きや姿勢をとって遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手伝ってもらいながら、スプーンを使って食べようとする。 ・保育者の言葉掛けでトイレに行き、見守られて排泄をする。 ・着脱に興味をもち、手足を動かそうとする。 ・一人歩きが安定し、小走りをしたり、段差のあるところを歩いたり、飛び降りたりしようとする。
	身近な人と気持ちが通じ合う	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な保育者とのスキンシップや触れ合いの心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と触れ合い遊びを楽しむ。 ・身近な保育者に親しみを強くもち、同時に他の保育者にも関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喃語や指さしを受け止めてもらい、やり取りを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の仲立ちにより、友達と関わって遊ぶ。
	身近なものに関わり感性が育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具などを手で触ったり、握ったり、口の中に入れてたりして感触を楽しむ。 ・外気浴や日光浴を通して自然に触れ、心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな形、大きさ、重さ、感触のおもちゃに触れて遊ぶ。 ・音の出る玩具を持って振ったり、たたいたり、音を出したりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを喜ぶ。 ・保育者の歌に合わせて手足や身体を動かして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指さしや片言（一語文）で自分の思いや要求を伝えようとしたり、やり取りを楽しんだりする。 ・指先を使った細かい動きを楽しむ。 ・保育者がするしぐさ、遊びを真似て楽しむ。
環境構成と援助の工夫		<p>☆一人一人の生活リズムに応じて、ゆったりとした温かい雰囲気の中で過ごせるようにする。 ○個々の健康状態や家庭での生活について保護者と確認し合う。 ○睡眠時に一人一人の安全確認を十分に行い、窒息や乳幼児突然死症候群の予防に努める。</p>	<p>☆安心して過ごせるよう、安全で家庭的な環境を整える。特に活動範囲の広がりに伴い、安全面や衛生面に留意し、活動しやすい環境を整える。 ○離乳食は、子どもの状態に合わせて量や形状を変えていく。 ○十分なスキンシップをしたり、気持ちや欲求をその都度受け止めたりしながら、安定した気持ちで過ごせるようにする。</p>	<p>☆子どもの好奇心や探索行動が満たされるように、興味や発達に合わせた環境を整える。 ○自分で食べようとする気持ちを大切にしながら、見守ったり介助したりする。 ○喃語や片言、指さし等にしっかり応え、やり取りを楽しむことで言葉の発達につながるようにする。</p>	<p>☆運動機能の発達を促すような遊びや環境を用意する。 ○一人一人の食事量や食べ方に合わせて介助をし、自分で食べた満足感をもてるようにする。 ○排泄は、一人一人の状態を把握しながら、無理のないように誘っていく。 ○子どもの気持ちを言葉にして返したり、共感したりしていくことで、言葉の獲得につなげていく。</p>
主な行事					